

令和7年度 赤十字血液シンポジウム(近畿ブロック)

日時：令和8年2月14日（土） 13:00～17:00

会場：MEETING SPACE AP 大阪駅前（12:00 開場）



：参加無料・要事前登録
事前登録については、裏面をご覧ください

第一部 細菌スクリーニング導入後の医療機関・血液センターの状況

座長 堀池 重夫（京都府赤十字血液センター 所長）

(1)造血器疾患に対する血小板製剤の利用の現状と課題

田中 宏和 先生（近畿大学病院 輸血・細胞治療センター）

(2)血小板製剤の適正使用に向けた輸血部の取り組みと課題

岡 一彦 先生（大阪赤十字病院 輸血部）

(3)細菌スクリーニング導入後の血小板製剤供給体制

松田 清功（近畿ブロック血液センター 事業部 需給管理課）

第二部 免疫グロブリン製剤使用の現状と今後の見通し

座長 櫻井 嘉彦（奈良県赤十字血液センター 所長）

(4)神経内科における血漿交換とIVIG の実施状況

奥野 龍禎 先生（大阪大学大学院医学系研究科 脳神経内科）

(5)腎移植における免疫グロブリン製剤の役割と課題

田崎 正行 先生（新潟大学医歯学総合病院 泌尿器科）

主 催：日本赤十字社近畿ブロック血液センター

共 催：日本赤十字社血液センター連盟近畿地区

後 援：日本医師会、日本病院薬剤師会、日本看護協会、日本臨床衛生検査技師会、日本輸血・細胞治療学会

【参加登録について】

<スマートフォン・タブレットから>

右の二次元バーコードから参加登録をお願いいたします。

<パソコンから>

近畿ブロック血液センターホームページのトップページ

「重要なお知らせ」に掲載しているリンクから参加登録願います。

スキャンすると参加登録フォームが開きます。

「令和7年度赤十字血液シンポジウム
(近畿ブロック)」参加申し込みフォーム



参加により以下の制度の単位取得が可能です。

- ・日本医師会生涯教育制度
- ・日本臨床衛生検査技師会生涯教育研修制度
- ・日本輸血・細胞治療学会が指定する認定制度

※会場の収容人数は最大200名です。会場参加の登録が多数あった場合、オンライン参加に変更をお願いする場合があります。



参加登録期間：2025年12月15日～2026年1月30日

【会場アクセス】

大阪府大阪市北区梅田1-12-12 東京建物梅田ビル B2階

- ・JR線「大阪駅」中央南口より徒歩2分
- ・阪神線「大阪梅田駅」より徒歩2分
- ・地下鉄御堂筋線「梅田駅」より徒歩2分
- ・阪急「大阪梅田駅」より徒歩5分



東京建物梅田ビル(AP大阪駅前) 外観



お問い合わせ先(事務局)

日本赤十字社 近畿ブロック血液センター 学術情報課

大阪府茨木市彩都あさぎ7丁目5番17号

☎ 072-643-1658